

指導方法工夫改善に係わる授業計画

1 令和3度の取組の成果と課題

- ・昨年度の結果として、国語は、目的に沿って文章を書く力に課題があった。そこで、テーマを与えての文章づくりを「えんぴつタイム」や日記、授業のまとめや振り返りを行った。
- ・全教職員で問題を解き、正答率の低かった問題の誤答分析を行い、本校の課題と課題に対応した改善計画や指導内容の工夫について研修を行った。
- ・改善計画を基に、課題克服に向け、全教職員が各教科のどの単元で実践するかを共有する。
- ・「標準学力調査」に対応した問題を解かせる計画を立てる。
- ・帯タイムを確実にを行い、知識・技能の定着を図る。
- ・読書への意欲づけを図り、読書量を増やし、読書の質を高めていく。
- ・個人の目標点を設定し、誤答分析をして不十分だった点を今後の授業で改善しつつ、標準学力調査の問題に再度取り組ませ、目標が達成できるように取り組む。
- ・取り組んだ結果を基に、再度改善点を確認し、取り組みを修正して続ける。

2 課題克服に向けた重点取組

○授業改善について

- ・校内授業研究や学校訪問、参観日などの授業において、ねらいを明確にした授業づくり、授業改善に向けて、板書交流やミニ研修を行う。
- ・日々の授業改善に取り組む。
- ・ねらいを明確にして、構造的な板書を工夫し、子供たちに基礎的な力をつけるための授業改善に努める。
- ・他の教科と関連させながら、スパイラルに学習の定着を図る。
- ・協働的な学びを通して、学びの質をより深いものにしていく。
- ・「順序立てる」「比べる」「関係づける」「予想する」「評価する」の思考スキルを活用し、自分の考えを組み立て表現するための授業改善に取り組む。
- ・算数科においては、授業の中で算数用語を日常的に使って説明させ、定着を図る。また、具体物の操作を取り入れて、図形の構成要素などの理解を深める。
- ・国語科においては、言語についての知識理解が定着するような授業での指導、個別学習、家庭学習を工夫する。